



希望記事

・今年の3月に、第二の職場を卒業する65才の男性です。卒業後に何をしたらいいか考えています。引っ込みがちな性格で、ALPSでも何回か取り上げていますが、なかなか実践して、みんなのところに入って会話をすることがどうしても出来ません。そこで、事前に人との付き合いのための教室等があれば、教えていただきたいのですが、よろしく願います。

地域デビューの敷居は案外高いものかもしれません。お近くの教室を紹介することは難しいですが、公民館などの講座を利用するなど、何らかの形でヒントになるような情報をご提供できないか検討してみます。また、今月号の「人づきあいを円滑にする笑いのテクニック」もぜひ参考にしてください！

・老後破産や高齢者の貧困が話題になっているが、社会のどこに問題があるのか、論説が読みたい。大企業勤務者や公務員も決して他人事ではないと思う。

論説というスタイルにはできませんが、来年度のFamilyのコーナーを企画する際、テーマの一候補にしたいと思います。

・マイナンバー制度の実施で注意したいことの紹介（他 同様1名）

マイナンバー制度については、今号のトピックスに掲載しましたが、今後も随時取り上げていく予定です。

・テーマに関連したブログ、サイト、本の紹介など

4月号からブックレビューのコーナーを設ける予定です。ご期待ください。

・読者に、シニア世代もいるので、その世代の有意義なライフスタイルの紹介などを取り上げていただければ嬉しいです。

「Nextstage」退職者への質問状」では毎号、シニア世代の退職後のライフスタイルを紹介しています。こちらが一つのご参考になれば幸いです。

その他ご意見

・今回の記事の中で「Useful Life 社会的に孤立し困窮状態にある少女を支える活動」の仁藤夢乃さんの記事は秀逸でした。このALPSを拝読して数年が経ちますが、最も感銘を受けた記事です。もしかするとこういった内容の記事を掲載することに賛否があったかもしれませんが、表面的でなく具体的な内容はとても心を打たれました。

・「社会的に孤立し困窮状態にある少女を支える活動」については、娘を持つ親として、子どもの福祉政策に関わる者として大変興味深く読ませていただき関連書籍も読ませていただきました。社会問題は「知る」ことがスタートだとおもいます。ぜひ、これからも様々な切り口で行政に関わる問題を取り上げていただければとおもいます。

・仁藤さんのように頑張っている若い方々どどのようにつながっていけばいいのかが、「公」の役割について考えさせられました。
・仁藤さんの記事は深く考えさせられました。このような社会の側面があることを忘れてはいけなない。

掲載に際してはいろいろな意見もありましたが、このような反響をいただきホッとしています。皆さまの声を仁藤さんにも届けたいと思います。

・「65歳で司法試験合格」の吉村さんは大変素晴らしい。私たちシニア世代の星です。とても足元に及びませんが、勇気づけられました。まだまだ自分なりに頑張りたいと思います。

・吉村哲夫さんの定年後に司法試験に合格というのは、すごいとしか言いようがありません。37歳から英会話を習得されたバイタリティもすばらしいと思いました。現在、私は50歳ですが、自分も諦めず目標を持ち、挑戦し続けようと勇気をもらえました。

・65歳で司法試験合格の吉村哲夫さんはすごい人だ。どうしたら吉村さんのように努力できるのか、継続できるのか、習慣化できるのかと考えます。本人の強い意志が大事とはわかっていますが、参考になる記事がありましたらご紹介ください。

「余生」ではなく「人生」、「終活」ではなく「就活」。老害などという嫌な言葉も耳にする昨今、吉村さんの姿勢には勇気づけられます。

・今回の最大のヒットは、サンドイッチマンの登場です。記事を読みながら涙がこみ上げました。義援金4億円は、ただただスゴイ！活動をなさっている事に、感動と自分も何かしなければと痛切に感じ、実にいいインパクトを与えていただきました。この通信員を受けて良かったと芯から思える内容でした。ありがとうございました。感謝！

そう言うってただで、こちらこそありがとございます。



・インタビュ記事の表題で「日本をナメるな！ 東北をナメるな！」との表現があります。誰に対して言っているのでしょうか。言葉の棘だけがここに引っかかります。本文は良いのに、本文と連動していないこのような表現は唐突に感じます。(他、同様3名)

ご指摘いただき、ありがとうございます。今後は気をつけたいと思います。

・両親が80才を迎え、「ゆる介護のすすめ」を拝読し、認知症に対する心構えを「予習」させてもらいました。私も体験する可能性が高い介護に対して、大変大きな心の支えになりました。実際にそのときがきたら、この記事を必ず読み返したいと思います。

・今号の「ムリなく付き合う認知症 ゆる介護のすすめ」は、最近老いを感じるようになってきた親族との今後のコミュニケーションの参考にさせていただきたいと思います。

・本号のゆる介護は大変参考になりました。これからも介護者のメンタルヘルスについての記事を希望します。

・認知症については、「親の介護」と「自分の対策(予防?)」の両方の点からとても興味があります。テーマとして継続して頂けたら…と思います。

事前の知識が、いざという時の備えになれば幸いです。

・40代シングルのライフプランはよかったですね。夫婦世帯のみのライフプランでなく、いろいろなパターンがあった方が、参考となります。

今後可能な限り、さまざまなパターンを取り上げていきたいと思えます。



・鍋焼きラーメンは写真が本当においしそうで、細麺を仕入れて是非作ってみたいと思いました。

全く同感です。おいしそうに見えるポイントは湯気と卵でしょうか。

・ALPSが来るたびに、「何かしないといけない」とぼんやり思っていました。健康診断受診をきっかけに、カラダづくりに目覚めました！ 関連記事に目が行き、いろいろチャレンジしています。姿勢を気にする・腕を振って歩く・ストレッチなどなど。「今更無理でしょ」と子どもに笑われながら…半年後、一年後の外見・内面（血液もココロも）がどうなっているか、楽しみです。仕事や家庭では思うようにならないことはありますが、努力をすればなんとかかなりそう得意になりますよ。

最初の一步が踏み出せたとは素晴らしい！ 1年後に良い成果が聞けることを楽しみにしています。

・長年自ら鍛えていることもあり、健康や身体についてはよく研究しているが、今回の「クローズアップ筋肉大臀筋」は知らなかったこと（脚を動かす方向により大臀筋を使う部分が違うこととそれぞれの部分の鍛え方）も書いてあり、大変参考になった。もっとページ数を増やした連載にして欲しい。

同コーナーは今号をもって終了となりますが、参考にさせていただき嬉しい限りです。谷本さんの記事については2012年1月号（108号）にも掲載していますので、こちらも当協会HPにてご覧いただければ幸いです。

・定年後の情報がたくさんあり将来の進み方につながるため、とてもありがたいです。

将来を考えられる際の参考になっていれば本望です。

・通信員の声は、どの？ 誰の？ 感想なのかわかる方法を取ってもらえたらと思っています。N・Oなどイニシャルでも構いません。どうぞご検討ください。

性別と年代の掲載に向け現在調整中です。

・毎回、熟読(?)させて頂いています。誌面の作り方が飽きることなく、活字の大きさや行間、色使いなど、どれをとっても「見やすい」「読みやすい」誌面になっていると思います、それほど、気合を入れなくてもスルスルッと読めてしまう、不思議な情報誌だと思っています。これからも楽しみにしています！

・取り上げるテーマ・視点が広範ですが、執筆者も専門家、難しい内容もわかりやすくなど、毎回の誌面づくりに敬服いたします。

過分なお言葉とお気遣いを、ありがとうございます。今年も皆さまに役立つ情報をお届けできるよう努めてまいります。

通信員からの評価が高かった記事

当誌では、通信員の方に毎号、各記事について「とても良かった」「良かった」「ふつう」「あまり良くなかった」「良くなかった」の5段階評価をしています。ここでは「とても良かった」「良かった」の評価が多かった記事をベスト3までご紹介します。

●1位…Family

ムリなく付き合う認知症
ゆる介護のすすめ 柳本文貴

●2位…Interview

サンドウィッチマンさん
東北は必ず復興します！ 日本をナメるな！ 東北をナメるな！

●3位…免疫力アップの食習慣

食欲の秋は、カラダにいい食物もいっぱい 石原結實